

自分の存在？(RBN)

de JA1RIZ

『移動運用』…CQ,CQ,CQ de … 全く呼ばれないボーズか…？
時々しか呼ばれない… ??? どうしてだろう…。
出力が出ていないのか？それともコンディションがNGなのか？

そんな時は、「追っかけ」してくれる局がいると心強いものです。

又、殆どが CW 運用なので、移動局のQSOを聴いて「J-クラスタ」や「339カスカス NET」にUPしたりされたりすると情報が拡散されて、耳をそばだててもらえる機会が増え、JCCやJCGなどを追いかけている局からコールされ、呼ばれる醍醐味も味わえるというものです。

最近、RBN(Reverse Beacon Network)という面白いシステムがあること教えてもらいました。もう7～8年も前に CQ 誌にも紹介されていた様で、時代遅れだよ！と云われそうですが…。

このシステムは、全世界で100～200局程の(時間帯により増減がある?) スキマー局と呼ばれる局が、識別するモード＝「CW」、「RTTY」、「PSK63」等で発射された「CQ」と「局名」を検知して、レポートを集計するネットワークです。周波数は 1.8～V/UHF 帯までカバーしているようです。

これが良いのは、CQを送信した局名／受信局名・周波数(100Hz 桁まで表示)・入力レベル(dB 表示)等を出力してくれることです。出した電波が実際のどこまで、どの程度の強さで飛んでいるか、が数値化されて表示されるという特徴があることです。

一般的に、「クラスタ」は、誰かが受信してそのデーターをアップするので一呼吸のタイムラグが発生することです。そして、アップしてくれる局がいないと存在すらわからないことです。それに信号強度の数値化までは殆んどされていません。ただし、CQ 信号でなくとも各OMが判断してアップするのでQTHとかの少し詳しい情報が付加されているという利点があります。

RBNでは、特に移動したときなど、あまり呼ばれなかったのは、電波が弱かったのか？それともお客さんが単に少なかつただけなのか？ 等々ある程度の推定はできると思います。また、ANTのテスト等にも使うことができるでしょう。

コールする側からも、このシステムを見ながら、アア、あのカントリーから CQ が出ているのかとDXハンティングなど、という使い方もできるでしょう。

いずれにしてもボランティア精神によって支えられているシステムの様です。使い方によっては大変に有り難システムといえます。

まだ覗いたことがないようでしたら、『RBN』をちょっとのぞいてみませんか？

以上